りぶまぐ！

Presented by Waseda University Volunteer Staff “ LIVS”

図書館でお気に入りをみつけよう

2018年　春　3



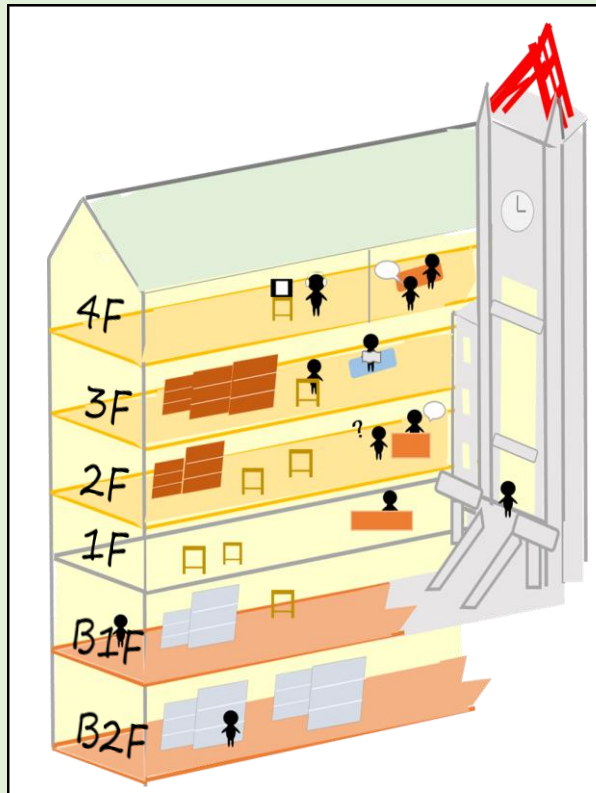
Central Library 中央図書館 施設紹介

イ ン

2018年春。今年も多くの新入生を迎えた早稲田大学。これから授業が始まるとレポートや課題が出されて図書館を使う機会が増えてくるはず。

「入学したばかりだし、図書館のことはよく分からない！」、そんな方もたくさんいるのではないでしょうか？さらに、早稲田大学にはなんと全部で21もの図書館・図書室があるので、迷うこともあると思います。

そこで！中央図書館を拠点に活動している早稲田大学図書館公認の学生ボランティア団体「LIVS（Library Volunteer Staff）：リブス」のメンバーが、今回学内最大の中央図書館にスポットを当て、館内の施設を写真と共にご紹介します。これを読んで、ぜひ中央図書館を活用してください！





Guide Map

中央図書館 見取り図

フォローする

4階…図書館ラウンジ、AVルーム、
複写・マイクロ資料室、特別資料室

3階…一般図書、グループ学習室、
新聞・雑誌コーナー、バックナンバー書庫

2階…一般図書、参考図書、グループ学習室、
貸出・返却カウンター、レファレンスカウンター

1階…研究書庫カウンター

地下1階…研究書庫、閲覧個室

地下2階…研究書庫、閲覧個室

#全フロアにコピー機完備 #1991年 #建物は上から見るとWの形 #入口の上にラテン語 #“QUAE SIT SAPIENTIA DISCE LEGENDO” #知恵の何たるかを読むことによって学べ #もともと野球場 #最後の早慶戦

Information of

学籍番号

ログ

How to Use

中央図書館の利用方法

基本的な利用方法を簡単にご紹介！
目指せ素敵な中央図書館ユーザー！

検索

資料は早稲田大学蔵書検索システムのWINE（ワイン）で探しましょう。図書館Webサイトからアクセス可能。

予約

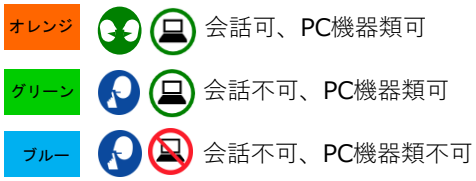
借りたい本が貸出中の場合のみ、次の貸出予約が可能。WINEの資料詳細画面から自分で好きな時、好きな所で行えます。

貸出

学部生の貸出は全館合計で15冊まで。貸出期間は2週間です。破いたり壊したら弁償ですよ！学生証を忘れずに。

利用ゾーン

会話可/不可、PC機器類使用可/不可で3つのゾーン（オレンジ・グリーン・ブルー）に分かれています。



返却

実は学内の図書館・図書室なら、借りた場所に関係なくどこでも返却できるのです。とても便利！

延長

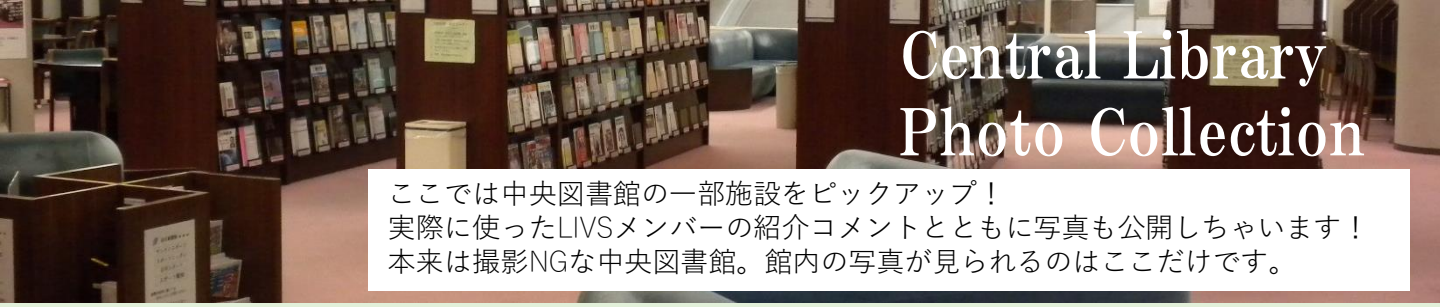
次の予約が無ければ、返却期限の5日前からオンラインで貸出延長ができます。1冊につき2回まで。

禁止事項

館内は禁煙・飲食禁止です！（しっかりフタのできる飲み物は持込OK）通話・写真撮影も禁止です。

次のページでは中央図書館の一部施設をご紹介！

次へ



Central Library Photo Collection

ここでは中央図書館の一部施設をピックアップ！
実際に使ったLIVSメンバーの紹介コメントとともに写真も公開しちゃいます！
本来は撮影NGな中央図書館。館内の写真が見られるのはここだけです。



目録ルーム



AVルーム全体



Audio-Visual Room

フォローする

AVルーム

新入生の皆さんへ。
大学内の図書館には、図書資料以外にもいろいろな形態の資料がたくさんあること、知っていますか？

中央図書館4階にあるAVルームでは、映画や演劇、落語やクラシックから、大学の最終講義などなど…
多彩な映像資料や音声資料を視聴できます。

前室の目録ルームでWINEや紙目録を使って資料を検索。「申請書」に視聴したい資料情報を記入。受付カウンターに提出したら、資料と学生証を交換して、各ブースで利用します。
ブースは半個室になっていて、1人で集中して視聴することもできるし、別途申請してグループ利用をすることもできます。

授業や課題の調べものに活用するのはもちろん、気になる作品を観てみたり、趣味の作品を探してみたり。
図書資料だけでは調べ足りない… 空きコマは何をしよう…
そんな時は、AVルームで過ごしてみるのはいかがでしょうか？

#2Fから4Fの吹きぬけの見晴らし #入口どこ #棚がいっぱい #ドキュメンタリー観る #意外と広い #専用テレビ #DVDの操作苦戦 #機械音痴





Reference Counter

フォローする

レファレンスカウンター

#出会いの春
入学式で気になった君にイイとこ見せるなら、
春風吹く新歓で 華麗にシュートを決めるより、
桜散る図書館で 凛として 課題をこなす僕の姿を見てほしい。
その夢、#レファレンスカウンター が叶えます。
レポートや課題に必要な資料の探し方を知りたい時、
いつでも相談することができます。
ここで得たものはきっと、今後の調べものにも生かせるはず。
これは、行くしかない。

〇主な相談内容〇
資料の探し方・事項調査・検索ツールの使い方・学内の図書館・図書室の利用・学外図書館の利用・資料の取り寄せ・購入希望・整理中図書の利用

〇サービス時間（中央図書館）〇
月～金　9:00-19:00

#中図書入って右手奥 #初めはちょっと緊張 #でも #行けばわかる#この安心感 #職員さんは #美男美女 #そして #頼れるエキスパート #レファレンス協同データベース #もおすすめ





Group gakusyuusitu

グループ学習室

フォローする

みんなとプレゼン作らなきゃ、でも集中できる場所がない…
図書館は静かにしないといけないし…なんて思っていませんか？
中央図書館には「グループ学習室」がありますよ！

グループ学習室では会話OK、無線LANに繋いでPCも利用できるので打ち合わせ、討論等に最適です！図書館内なので、資料もすぐに取りに行けます！
ホワイトボードも設置されているのでアイデア出し・まとめに便利！（詳細な設備は各学習室によって異なります）
中央図書館の入口ゲートを入ってすぐ左にあるグループ学習室Aは、可動式の机・椅子なので、席を自由にレイアウトできます。

グループ学習室は、中央図書館以外にも戸山図書館・所沢図書館・高田早苗記念研究図書館（大学院生のみ）などにもあります。

中央図書館のグループ学習室は予約不要です！ただし、その他の図書館・図書室では予約が必要な場合があるので、詳細は各図書館にご確認ください。

#グループ学習室 #ホワイトボード #無線LAN #お菓子の持ち込み厳禁！ #ラーニング・コモンズとも呼ばれる





Kenkyu-Shoko

研究書庫

フォローする

レポート書かなきゃ…発表の準備しなきゃ…
でも、参考文献や資料がなかなか見つからない…
そんな時はぜひ地下1階、地下2階に広がる研究書庫へ。
荷物をロッカーに預けて、学生証を提示して入ります。

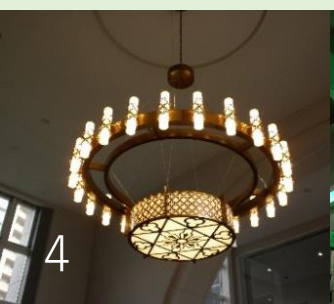
日本全国の大学図書館の中でも、指折りの蔵書数を誇るのが早稲田大学図書館。大学創設期の古書から最新の研究論文まで、あらゆる資料を網羅しています。

電動書架ではボタンを操作して目当ての本を探しましょう。
地下1階の本は「早稲田分類」という早稲田大学独自の分類で、地下2階の本は「日本十進分類法（NDC）」によって分類されています。中には夏目漱石の『三四郎』の初版本もありますよ。
そんな貴重な本も貸出可能なのがすごいところ。
（一部貸出不可、館内利用のみの資料もあります）

ここに来れば探していた1冊にきっと出会えます。
あなたの学習も、より充実したものになることでしょう。

#中央図書館に入って目の前の階段で下へ #荷物はロッカーに預けてから #学生証は忘れずに #バッジを付けて入る #赤と緑の蛍光灯 #閲覧スペースあり #コピー機も完備

中央図書館の施設紹介、いかがでしたか？この図書館には、まだまだ多くの施設があって、日々の学習を様々な形で支えてくれます。ぜひ中央図書館に足を運んでその魅力に触れてみてください！









全国津々浦々 早稲田ゆかりの作家達

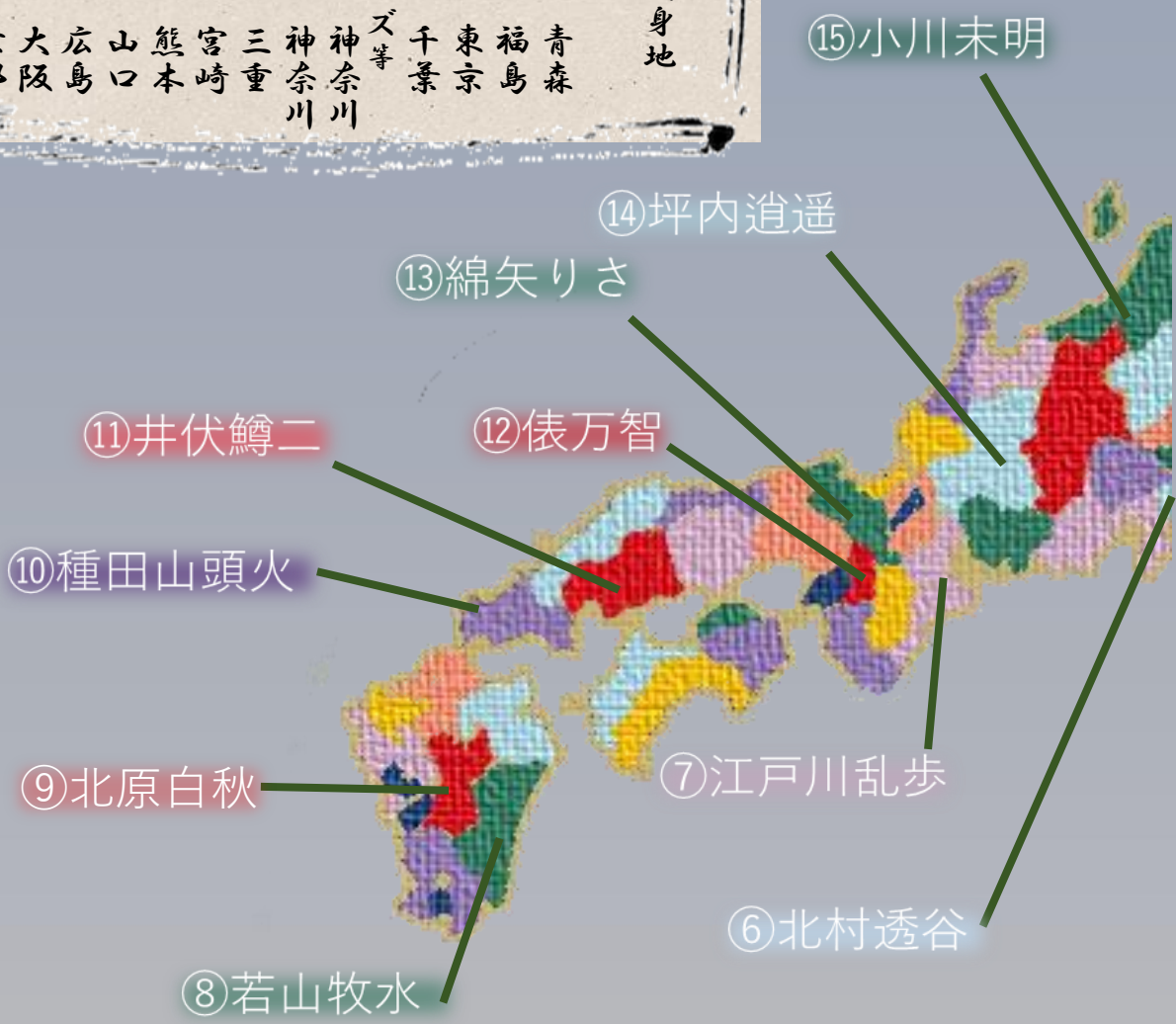
文学界には今も昔も早稲田大学にゆかりのある人がたくさん！

詳しくは七～八ページをご覧あれ！



作家情報

	生没年	『代表作』	出身地
①	1964-	『夜のピクニック』等	青森
②	1898-1947	『日輪』等	福島
③	1928-2006	『ぼくは王さま』等	東京
④	1871-1908	『武蔵野』等	千葉
⑤	1949-	『パスワード』シリーズ等	神奈川
⑥	1868-1894	『蓬莱曲』等	神奈川
⑦	1894-1965	『怪人二十面相』等	三重
⑧	1885-1928	『別離』等	宮崎
⑨	1885-1942	『雲母集』等	熊本
⑩	1882-1940	『鉢の子』等	山口
⑪	1898-1993	『山椒魚』等	広島
⑫	1962-	『サラダ記念日』等	大阪
⑬	1984-	『蹴りたい背中』等	京都
⑭	1859-1935	『小説神髄』等	岐阜
⑮	1882-1961	『赤い蝋燭と人魚』等	新潟



早稲田大学ゆかりの作家をくわしく紹介

ここでは、五・六ページに掲載した作家のうち、八人を取り上げて紹介します。小説家だけでなく、詩人、歌人、俳人、児童文学作家まで、その活躍は多岐にわたります。「あれ、この人も！あの人も！」と思った方も多いでしょう。今回紹介した作家の作品の多くが早稲田大学図書館に所蔵されています。ぜひ図書館に足を運んで本を探してみてください！



江戸川乱歩（えどがわらんぽ）

筆名はエドガー・アラン・ポーに由来する。1923年（大正12年）のデビュー作『二銭銅貨』は日本初の近代的推理小説といわれる。独創的なトリック、幻想怪奇趣味、強烈なサスペンスなどインパクトのある作品を多く発表。一方、『怪人二十面相』以下の少年物でも人気を博した。明らかに読者を意識した、その独特な語り口が印象的である。戦後は探偵作家クラブ（現・日本推理作家協会）を創設して会長となり、日本の推理小説発展に寄与した。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

井伏鱒二（いぶせますじ）

中学時代に画家を志した彼は、早稲田大学に在学しながら日本美術学校にも籍を置いた。大学時代には岩野泡鳴を訪ねたほか、同級生と小説作りに励んだ。大学中退後はは同人雑誌を転々とし、出版社に勤めるなどした。1928年（昭和3年）に『鯉』を「三田文学」に、翌年『山椒魚』を「文芸都市」に発表し文壇に認められた。1937年（昭和12年）『ジョン万次郎漂流記』で第6回直木賞を受賞。原爆を題材にした『黒い雨』は代表的な戦争文学である。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

寺村輝夫（てらむらてるお）

在学中は早大童話会に所属し、多くの童話作家やその卵たちと交流を深めた。前ページで紹介した本以外にも『こまったさん』『わかったさん』シリーズなどがあり、時が経った現在でもその魅力的な世界に多くの子どもたちを引き込んでいる。日本を代表するナンセンス童話作家とされるが、そこには彼自身の子ども観が大きな影響を与えているだろう。今読むと子ども時代とは異なる世界が見えてくるかもしれない。種明かし的な『童話の書き方』もおすすめ。

所蔵：中央図書館　教育学読　他

種田山頭火（たねださんとうか）

11歳で経験した母の自殺が彼の生涯に大きな影響を与えた。早稲田大学に入学したが、神経衰弱により退学して帰郷。その後商売を始めるが失敗し、妻子とも別れて上京した。しかし、定職に就かず熊本へ帰ると、酒におぼれ乱れた生活を送る。1924年（大正13年）に報恩寺で出家すると、翌年から漂泊の旅に出た。句を作りながら全国を周遊した。句集『草木塔』。紀行文集に『愚を守る』など。独特な自由律俳句で知られる放浪の俳人である。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

文学賞獲得の作家も大勢

数ある文学賞の受賞者の中には、早稲田大学にゆかりのある作家が大勢います。一八九一年(明治二十四年)から続く雑誌「早稲田文学」をはじめ、多くの文芸サークル、本好きの学生など、文学の世界につながる環境があることが大きな影響を与えているのでしょう。

各地にゆかりの作家の記念館も

前ページの地図からは、北から南まで、全国から作家が誕生していることが読み取れます。生誕の地やゆかりの地には記念館が建てられていることが多いので、休みの日に訪れてみるのもよいですね。



松原秀行（まつばらひでゆき）

青い鳥文庫の『パソコン電子探偵団事件ノート』シリーズ、通称パスワードシリーズと聞くと小学生時代の読書体験を思い出す人もいるのではないだろうか。このシリーズを代表作にする松原秀行は早稲田大学出身の児童文学作家兼フリーライターである。パスワードシリーズだけではなく他の児童書シリーズでも本文内に含まれた問題の多様さに驚かされる。童心に返ってもう一度手にとってほしい。きっと新たな楽しみが見つかるはずである。

蔵書なし

北原白秋（きたはらはくしゅう）

詩、童謡、短歌など様々なジャンルで活躍した国民的詩人である。卒業こそしなかったものの、早稲田大学に在学していた頃は号を「射水」と称しており、友人である若山牧水、中林蘇水とともに「早稲田の三水」と呼ばれた。実は白秋作、という歌はかなり多い。発声練習で有名な「あめんぼあかいなあいうえお」（原文は『五十音』の「水馬赤いな。ア、イ、ウ、エ、オ。」）も、実はこの人の作品。調べてみると他の作品もみつけられるかもしれない。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

綿矢りさ（わたやりさ）

高校生時代に『インストール』で文藝賞を、早稲田大学在学中に『蹴りたい背中』で芥川賞を受賞した京都府出身の作家。前述したどちらの賞においても当時の最年少記録を更新した。文壇のアイドルと呼ばれ話題になった事を覚えている人もいるだろう。ペンネームは本名の梨沙をひらがな表記したものに友人である綿谷の名字を組み合わせたものである。漢字が「谷」ではなく「矢」なのは後者の方が占い的に良かったからという理由がある。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

若山牧水（わかやまぼくすい）

「早稲田の三水」の一人。名前を聞いてもピンと来ないかもしれないが、「白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ」という歌は教科書にも載っている。酒と旅を愛した人で、素朴な歌が魅力。20代前半で大失恋するも、等身大の悲痛な思いを綴った第三歌集『別離』がヒットし、歌人としての地位を確立するという皮肉な結果に。その後出会った文学少女と結婚し、生涯愛し続けた。ひととなりを知ると、さらに味わい深くなる歌人である。

所蔵：中央図書館　戸山図書館　他

担当者のつぶやき



「図書館を新しい角度から…」ということでスタートした今回の『りぶまぐ！』。これを機に図書館の秘める魅力に触れて頂けたら幸いです。
（作間充将）

作家紹介ページの地図は個人的に自信作です！この冊子を手に取ってくださった方々が楽しんで読んでいただけるように頑張りました。
（川村美涼）





あっという間に『りぶまぐ！』もvol.8になりました。私にとっては初めて制作班に入って作った一冊です。初のおしゃれSNS風、難しかったですが楽しくできました。お楽しみください　！
（丸山由生奈）

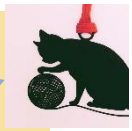
施設紹介を担当しました。図書館の魅力を再発見でき、とても楽しかったです！『りぶまぐ！』が、図書館に来るきっかけになったら嬉しいです。
（大﨑千春）





誰一人某SNSをやっていないにも関わらず提案された「フォトジェニックな、『りぶまぐ！』」。制作とても楽しかったです。ありがとうございました！
（中村朱里）

早稲田やかりの作家は他にも大勢いるので、ぜひ探してみてください。意外な人が見つかるかも！みなさんに本との新しい出会いがありますように。
（弦間沙羅）





早稲田やかりの作家のページを担当させて頂きました。たくさんの作家が早稲田に関連していて驚きました！これからもLIVSの活動をよろしくお願いします！
（三浦恭子）

施設紹介担当です！普段利用しているものでも、説明するのは大変だと感じました。でも、とっても楽しかったです！協力して下さった皆様、読者の皆様に感謝です！
（中村綾）





お手に取ってくださったあなたさまに感謝。作家紹介楽しかったです！某SNSをやっていないのにフォトジェニックとか言い出した犯人は私です！！
（石足祐希乃）

『りぶまぐ！』班メンバー・担当ページ

〈担当ページ表記〉
施設紹介→施、作家紹介→作、編集後記→編、LIVS紹介ページ→L、表紙・裏表紙→表

- 作間充将〈施、表〉
- 川村美涼〈作、編、表〉
- 丸山由生奈〈施〉
- 大﨑千春〈施〉
- 中村朱里〈L〉
- 弦間沙羅〈作〉
- 百足祐希乃〈作〉
- 中村綾〈施〉
- 三浦恭子〈作〉

〈職員〉
- 稲葉直也
- 山下修平

『りぶまぐ！』発行にご協力くださった方、手に取ってくださった方、すべての皆様に御礼申し上げます！

早稲田大学図書館
ボランティアスタッフ
LIVS
活動紹介（2017年度）











LIVS









LIVS　早稲田大学図書館ボランティアスタッフLIVS

LIVS（リブス）は、学生視点での図書館サービスの企画・提案を目的とした学生ボランティア団体として、2013年4月に発足しました。図書館の業務を行うのではなく、学生にとって魅力的な図書館を目指して、利用案内・学習支援・読書推進などの視点から、イベントや展示を企画・実施しています。

LIVSメンバーとして、図書館の企画に参加してみませんか？
ボランティアをしたいと考えている人、図書館に関する知識を増やしたい人、何かにチャレンジをしたい人、学年、所属を問わず新しいメンバーを募集しています。興味のある方はまず、4・5月に開催予定の説明会に是非来て下さい。
みなさんの参加をお待ちしています！

http://www.wul.waseda.ac.jp/CLIB/livs/

#新規メンバー大募集！

いいね！　9,098件

図書館紹介冊子『りぶまぐ！』
2016年4月に発刊してから(一応)定期刊行している『りぶまぐ！』。これまでのvol.1～2.5は早稲田大学図書館Webサイトの LIVSページで閲覧可能です！

新入生に贈る一行（企画展示）
毎年春に行う人気企画！LIVSメンバーが選んだとっておきの一行で図書館中を埋め尽くして、新入生や皆さんの新生活を応援しました！

文庫川柳（企画展示）
文庫本の背表紙タイトルで川柳を作る遊び、それが文庫川柳。2017年は「夏」をテーマに、LIVSメンバーそれぞれで一句詠みました！オープンキャンパスにあわせての展示で多くの人に見てもらえました。

新しい趣味はじめよう！〇〇の秋（企画展示）
運動・学問・芸術・食欲の4つのテーマにあわせて、秋にふさわしい新しい趣味を始めたくなる本を紹介する展示を行いました！

脱出ゲーム
中央図書館にまつわる問題を皆さんの推理や調査で解きながら、中央図書館内の各施設を巡る大人気企画！2014年10月に始まったこの企画も、ついに2017年10月に完結しました！

学生協働ワークショップin東京
東京近郊の大学図書館の学生協働団体が集まり、それぞれの取り組みや今後の学生協働のあり方について話し合うイベント。図書館を舞台に活動している点は同じでもその内容や方法は実に様々！他大学と交流できる貴重な機会です。

Library Gifts～あなたに贈る本～（企画展示）
クリスマス企画として本の展示を行いました。本はクリスマス仕様にラッピングされ、開けるまで中身が見えない、わくわくする展示となりました！

これからも、LIVSの活動は続きます！



Presented by
Waseda University Library Volunteer Staff “ LIVS”

「りぶまぐ！」vol.3　2018年4月1日発行

編集・発行：早稲田大学図書館・ボランティアスタッフLIVS

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学中央図書館 利用者支援課

TEL：03-5286-1659　　http://www.wul.waseda.ac.jp/CLIB/livs/

※本紙掲載の書影等の著作物は、すべて出版社からの許諾を得て掲載しています。
本紙掲載の写真、記事、図版等を無断で転載・模写することを禁じます。
※本誌は執筆者の許諾を得て電子化し、「早稲田大学リポジトリ」で公開されます。